

- 3面 各地で漁船組合員大会を開催
〈室蘭・紋別・石巻〉
- 4面 各地でスポーツイベント開催

船員しんぶん

◆ホームページアドレス <https://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス kaiin@jsu.or.jp
全日本海員組合発行 第3098号 (昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2025年(令和7年)
10月5日
本紙は毎月5・15・25日発行

〒106-0032 東京都港区
六本木7丁目15番26号
全日本海員組合本部
発行人 齋藤 洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-6910-5339
定価 1部 50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

宮崎カーフェリー株式会社

「フェリーたかちほ」「フェリーろっこう」

物流の大動脈を担う宮崎カーフェリー

「フェリーたかちほ」と「フェリーろっこう」の2隻のフェリーは、神戸港から宮崎港を約13時間で結ぶ。宮崎県は「日本のひなた宮崎県」に象徴されるように、日照時間や快晴日数が全国トップクラスで、平均気温も高く温暖な氣候に恵まれている。

また、農業産出額が全国上位にランクするも、大消費地から遠隔地にあるなど、流通面で難点もあったが、東九州自動車道宮崎〜北九州間の全線開通や、港湾の整備など、交通・物流の基盤整備が進み、宮崎港から神戸港を2隻の大型カーフェリーが結ぶことで、大消費地への多くの農畜産物が輸送されるようになり、宮

崎カーフェリー株式会社は、宮崎県の地域経済と物流を支える重要な役割を担っている。宮崎県の主な農畜産物は、宮崎牛に代表される牛、安全安心な県産豚肉、年間に1億羽以上出荷するブロイラー、全国有数の産地でレタミンCの含有量の高い冬春ピーマン、収穫量が全国1位の「きゅう

り」、完熟にこだわり、樹上熟成し自然落果したものも収穫するマンゴー、収穫量が全国3位の「うなぎ」、収穫量が全国1位の「きんかん」など多岐にわたる。

また、漁業では、北上する黒潮と、南下する沿岸流で複雑な海況となることで、沿岸はイワシ、アジ、サバなど

の好漁場となり、沖合にはカツオやマグロの漁場が形成されるため、近海かつ一本釣りによる漁獲量は、令和6年から連続全国1位となり、マグロは縄漁業でも沿岸で1位、近海で2位と全国上位の漁獲量を誇る。

従来のフェリーでは、繁忙期に満船になることから、全てのトラックを積載できないこともあったが、令和4年に新たに就航した「フェリーたかちほ」と「フェリーろっこう」は、積載台数を増加させ、トラックの積載台数も従来船より33台増えて163台とし、宮崎県が誇る新鮮で高品質な農畜産物をより多く運べるようになった。宮崎港〜神戸港の航路は、宮崎県経済の生命線ともいえる。



フェリーろっこう



左から宮崎カーフェリー株の小川寛海務部長、日高正裕専務取締役、山本茂雄機関長、郡司行敏代表取締役社長、田中伸一組合長代行、木原茂船長、高宮成昭関東地方支部長、木下友喜副支部長、佐藤哲也在籍専従執行部員

宮崎県宮崎港と兵庫県神戸港を結ぶ2隻の豪華なカーフェリー「フェリーたかちほ」と「フェリーろっこう」は、農林水産物である宮崎県の農畜産物や県内企業が生産する工業製品を関西圏の大消費地へ輸送するとともに、九州と関西を行き来する旅客と乗用車を運ぶ重要な役割を担っている。

宮崎カーフェリー株式会社の「フェリーたかちほ」の就航は2022年4月15日で、同じ年の10月4日に「フェリーろっこう」が就航した。9月1日と2日、田中伸一組合長代行と高宮成昭関東地方支部長、木下友喜副支部長、佐藤哲也在籍専従執行部員が訪船し、フェリーの安全運航に従事する乗組員と意見交換を行った。

宮崎〜神戸を結ぶ最新鋭大型カーフェリー



機関部の皆さんと一緒に



事務部の皆さんと一緒に





左から小川寛海務部長、黒木政典名誉顧問、郡司行敏代表取締役社長、日高正裕専務取締役、佐藤哲也関東地方支部在籍専従執行部員、高宮成昭関東地方支部長、田中伸一組合長代行

郡司行敏社長が展望を語る
宮崎カーフェリー株式会社の郡司行敏代表取締役社長は九州大学大学院農学研究科を修了し、宮崎県庁に入庁。農政水産部長、副知事を経て宮崎カーフェリー株式会社代表取締役社長に就任した。宮崎県庁時代には、宮崎牛、完熟マンゴー、キャビアなど農水産物のブランディングに携わっている。

9月2日、宮崎港のフェリーターミナルにある宮崎カーフェリー株式会社本社を、田中伸一組合長代行と高宮成昭関東地方支部長、木下友喜関東地方支部副支部長、佐藤哲也関東地方支部在籍専従執行部員が訪問し、郡司行敏代表取締役社長と黒木政典名誉顧問(前社長)、日高正裕専務取締役、小川寛海務部長の会



サーフボードロッカー



まちライブラリー



まちライブラリーを考案した橋本康聖さん

宮崎カーフェリー株式会社 宮崎県の 発展を担う海上輸送



フェリーたかちほ

社側出席者に、会社の今後の展望を伺った。
郡司行敏社長は「私たちの目指すものは、宮崎と神戸をフェリーで結ぶことで、地域の未来と共に成長する企業となることです。人と人をつなぐ、街と街をつなぐ、文化と文化をつなぐ。これからも宮崎と神戸の架け橋として両地域の交流促進と産業振興に力を尽くしていきたい」と意欲を示した。

また、会社の今後の展望については「コロナ禍が収束してから、全国的に回復基調にあると思うが、燃料費が高騰している現状下にあつては、しっかりと対策をとって経営していかなければならない。トラック業界における2024年問題である時間外労働の上限規制の厳格化を踏まえ、トラック業界との情報交換や連携を密にして、地域の特徴ある食材を活かした食の地産地消を推進し、かつ農業県・宮崎県のフェリー会社として、市町村や関係団体と連携したさまざまな取り組みを進めていきたいと考えています。トータルとしてこの南九州の荷を大消費地へ届けたいことについて、工夫をして連絡体制を構築し、真に県民に愛される県民フェリーの実現を目指して、引き続き安全運航、安定輸送に社を挙げて全力で取り組んでいきます」と語った。

2隻の大型カーフェリーについては「貨物だけでなく、旅客も大きな柱であり、旅客にとつて『目的地としてのカーフェリー』、つまり目的地は宮崎と神戸で、カーフェリーは移動手段ですが、旅客にとつて船に乗ること自体が旅の一つの目的になるような旅客に愛される船を目指したいと考えています。そして2隻のカーフェリーは、女性に優しい授乳室やパウダールームの設置、障がい者に優しいバリアフリー化の推進、家族連れに優しいキッズスペースの設置、サーフィンを楽しむ人たちがサーフボードを持ち込むためのサーフボードロッカーの設置、船の進行方向が確認できる展望サロンの新設し、さらにイベントステージを拡充するなど新しい魅力が満載です。乗船客に楽しい船旅を満足してほしいと考えています」と語った。

乗組員のアイデアを採用した「まちライブラリー」
船内通路には海を眺めながらくつろげるサロンがある。これは、新造船を建造するときに事務部の橋本康聖さんのアイデアが採用された「まちライブラリー」で、乗組員や乗船客が読み終えた本を「まちライブラリー」のコーナーに寄付するもので、サロンはゆつくりとした空間で読書でき、喫茶店のような雰囲気を出しており、乗船客に好評を得ている。

宮崎県の名勝
宮崎県にはパワースポットや絶景など、名勝が数多くあるが、郡司行敏社長が副知事として働いていた宮崎県庁も名勝のひとつ。九州で唯一、戦前から残る県庁舎で、2017年に国の登録有形文化財となった。

また、代表的な名勝と言えば宮崎カーフェリーの船名の由来「高千穂峡」。高千穂峡は1934年に五箇瀬川峡谷として、国の名勝・天然記念物に指定され、1965年に祖母傾国定公園の一部に指定された。この峡谷は今から約27万年前、14万年前、12万年前、9万年前と4度にわたる阿蘇火山活動によって噴出した火砕流が、五ヶ瀬川沿いに流れ出し、冷却固結したために柱状節理が生じ、長い年月の浸食で出来上がった自然の芸術ともいえる素晴らしい峡谷。高さは平均80mで、高い所は100mの断崖やV字峡谷が東西にわたり約7kmも続く。約1kmの整備された遊歩道では、日本の滝百選に選ばれた真名井の滝など雄大な峡谷美を楽しめる。内航船で宮崎港や鹿児島港などで交代下船の時は、ぜひ寄り道してほしいパワースポットである。

日本のひなた
宮崎県へ
ようこそ



高千穂峡



宮崎県庁

紋別地区漁船組合員大会



石巻地区沖合底引き網漁船組合員大会



各地で 漁船組合員大会

室蘭地区／紋別地区／石巻地区

室蘭地区漁船組合員大会



室蘭地区漁船組合員大会

8月28日、室蘭漁業協同組合2階会議室で、令和7年度室蘭地区漁船組合員大会を開催し、室蘭地区沖合底引き網漁船組合員45人が出席した。はじめに山崎秀和北海道地方支部長があいさつし、北海道の漁業情勢と後継者確保・育成の課題について触れた。

次に池上幸太北海道地方支部副支部長が、北海道地方支部の活動の概要と道内沖合底引きの現状報告、室蘭地区沖合底引き網漁船に関する取り組みについて報告を行った。

現場組合員からは▽時化休みと公休の扱いについて▽賃金改善について▽JSS研修補助における宿泊費と食事代の適用についてなどの質問・意見があり、質疑応答で理解を深め、組合員大会を終了した。《北海道地方支部＝発信》

紋別地区漁船組合員大会

9月5日、午前10時から紋別漁業協同組合会議室で令和7年度紋別地区漁船組合員大会を開催し、4隻47人（北雄丸・第三佐治丸・第二八嘉廣丸・第八十平安丸）の組合員が出席した。はじめに組合本部を代表して、高橋健一中央執行委員があいさつし、来賓紹介の後、本部活動報告、第81年度活動方針案（水産関係）、支部活動報告と道内沖合底引き網漁船の状況や、労働協約改定交渉の妥結結果などを説明し、理解を深め、大会を終了した。《道北支部＝発信》

令和7年度石巻地区沖合底引き網漁船組合員大会

7月28日、石巻市水産総合振興センターで令和7年度石巻地区沖合底引き網漁船組合員大会を開催した。

山崎暁東北地方支部前任事務職員を議長に選出し、高橋雅幸東北地方支部長が「本大会は、休漁期間という限られた時間を利用し、海員組合の一年間の活動に対する理解を深め、次年度の活動と労働協約改定要求について話し合う大変重要な会議となっているので、忌憚のない意見をお願いする」とあいさつした。

続いて議事に入り▽本部・水産部の活動▽東北地方支部の活動▽労働協約改定交渉の経過▽活動方針案などを説明した。

組合員からは▽生産奨励金や「がんばる漁業」の賃金体系▽退職金制度などについて質問や意見が出され、質疑応答で理解を深め、課題の解決に向け取り組むことを確認した。《東北地方支部＝発信》



沖合底引き網漁船



2025年10月5日

中央選挙委員会 議長 齋藤 洋

第40期全国委員の資格喪失告示

一、次の者は、規約第47条A項6号により全国委員資格を停止したので告示する。

《地方区・地方単位》

03 関東

05 中・四国

二、次の者は、規約第47条A項8号により、全国委員資格を喪失したので告示する。

《企業区・企業単位》

026 小名浜地区組合員

029 川崎汽船

036 関東地区内航Cグループ

040 共同船舶

03 関東

03 関東

第40期全国委員の資格停止告示

一、次の者は、規約第47条B項4号により全国委員資格を停止したので告示する。

《地方区・地方単位》

03 関東

03 関東

第40期全国委員・補充選挙の告示

規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第40期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。

一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員

《選挙単位コード・単位名》

地方単位 03 関東

地方支部 05 中・四国

企業単位 026 小名浜地区組合員

企業単位 029 川崎汽船

企業単位 036 関東地区内航Cグループ

企業単位 040 共同船舶

二、補充選挙の実施日程

立候補届出期間 2025年10月5日より

候補者告示 2025年10月15日まで

投票期間 2025年10月15日より

当選人告示 2025年11月14日まで

三、補充選挙の被選挙人

(1) 地方区

全国委員選挙規則第25条A項により、補充選挙告示日に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格を有する執行部員とする。

(2) 企業区

全国委員選挙規則第25条B項により、補充選挙告示日に補充選挙を行う企業単位に所属する完全資格組合員とする。

四、立候補の届け出

立候補をする者は、全国委員選挙規則付表の一に定める様式に基づく立候補届を当該地区選挙委員会へ提出すること。

五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先

中央選挙委員会事務局（総務部）

以上



始球式

横浜港 大黒ふ頭で ソフトボール大会 熱戦を繰り広げる



優勝した東京汽船株式会社チーム

7月19日、横浜港に面する大黒ふ頭中央公園運動広場で、ソフトボール大会を開催し、船員や海事関係者の7チームが参加した。

開会式の後、高宮成昭関東地方支部長が始球式のピッチャーを務め、各グラウンドで白熱した試合が始まった。

トーナメント方式で熱戦が繰り広げられた結果、決勝戦は東京汽船株式会社チーム対横浜市港湾局チームの対決となった。試合では、東京汽船株式会社チームの打線が爆発し、昨年の優勝チームを下した。

炎天下での開催となったが、熱中症やケガのアクシデントも無く、参加者にとって良いリフレッシュの機会となり、大いに盛り上がった。

〈関東地方支部〓発信〉



名古屋支部

第19回海の日記念ゴルフ大会



関西地方支部

第20回海員ゴルフコンペ(開会式)



中・四国地方支部

海員スポーツイベントゴルフ大会

各地で ゴルフ大会を開催

名古屋 関西 中・四国

第19回海の日記念 ゴルフ大会

7月3日、三重県の京ヶ野ゴルフ倶楽部で、名古屋支部主催の第19回海の日記念ゴルフ大会が開催された。

開会式では、山原始名古屋支部長が主催者代表あいさつをした後、参加者全員で記念撮影を行い、ラウンドがスタートした。

競技の結果、優勝はコスモ海運株式会社四日市営業所の山村育也さん(グロス78ネット70・8)で、準優勝はグリーン海事株式会社の川端康友さん(グロス75ネット72・6)、3位に元中部沿海海運組合の吉村剛さんで(グロス91ネット73・0)であった。

優勝した山村育也さんは

「結果を残すことが出来うれしく思う。今後も積極的に参加し海運労使連携して盛り上げたい」とコメントした。

参加者は互いに健闘をたたえ合い親睦を深め、第19回海の日ゴルフ大会は幕を閉じた。

《名古屋支部〓発信》

結果、優勝は新丸菱海運株式会社の福本誠さん(グロス89ネット73・4)であった。

福本誠さんは「長年海員ゴルフコンペに参加してきたが、今回初優勝出来て感無量です」とコメントした。

7月4日、センチュリー三本ゴルフ倶楽部で、第20回海員ゴルフコンペを開催し、現場組合員をはじめ、海事関係者14人が参加した。

当日は晴天に恵まれたが、連日、各所で過去最高気温が更新しているとの報道が流れているため、熱中対策に万全を期し、競技に入った。

競技はダブルペリア方式で

《関西地方支部〓発信》

行われ、本四海峡バス株式会社の川中佑介さんの豪快な始球式の後、スタートした。

競技中は「ナイスショット」と「ファー」の掛け声がゴルフ場に響き渡り曇りを吹き飛ばした。

9月19日、広島県三原市の白竜湖カントリークラブで、令和7年度海員スポーツイベントゴルフ大会を開催し、組合員や組合員OB、海事関係者など総勢20人が参加した。

開会式では主催者を代表して、除補修中・四国地方支部長があいさつし、記念撮影を行った後、参加者は優勝を目指し競技をスタートした。

激戦の末、今大会の優勝者は日鉄物流株式会社の木村啓司さん(グロス82、ネット72・4)、準優勝は日鉄物流株式会社の上村中さん(グロス111、ネット78・6)となった。

表彰式では、入賞者の発表

と、各賞が発表され大いに盛り上がった。

最後に除補修中・四国地方支部長が閉会のあいさつをし、令和7年度海員スポーツイベントゴルフ大会を終了した。

〈中・四国地方支部〓発信〉

優勝目指して ナイスショット!!

